

厚 社 協 号  
令和4年4月吉日

公益社団法人 北海道社会福祉士会 様

社会福祉法人厚真町社会福祉協議会  
会長 大 橋 正 治  
(公印省略)

平成 30 年北海道胆振東部地震被災者支援活動の感謝とお礼について

拝啓

春暖の候、貴法人におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成 30 年北海道胆振東部地震厚真町被災者支援で本会が立ち上げました災害ボランティアセンター運営に際しましては、多大なご支援を賜り、改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、本会では貴法人に感謝の意を表したく、感謝状を贈呈することといたしました。本来ですとお礼の場を設け、直接お礼を申し上げるところですが、略儀ながら郵送することといたしましたので、ご了承いただき、お受け取りのほどよろしくお願い申し上げます。

この感謝状は、盾裏面でも紹介しておりますが、平成 30 年北海道胆振東部地震では厚真町が町の木として指定している「こぶし」立木も大きな被害を受けたことから、被災者支援でお世話になった皆様への感謝を込め、町内で林業に取り組む地域おこし団体「一般社団法人 ATSUMANOKI 96」がこの被災立木を活用して製作したものです。

「こぶし」は町内全域に自生し、春早く葉のない梢に大きな白い花をつけ、厚真町民の心を癒し、また、開花によってその年の農作物の豊凶を占うこともある、町のシンボルとなっております。

感謝状の日付ですが、誠に勝手ながら発災後 3 年となる 9 月 6 日付けとさせていただきます。この 9 月 6 日は、私ども厚真町民は忘れられない、忘れることができない日となっておりますので、この日といたしました。ご理解いただきたく存じます。

月日が経つのは早いもので、発災から 3 年 6 月を迎えました。貴法人をはじめ皆様のご支援と激励により、本町は復旧・復興、さらに創生へと着実に歩みを進めているところであり、変わりゆく厚真をご覧いただきたく存じますので、お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りくだされば幸いです。

終わりに、本会事業活動に引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、貴法人のますますのご繁栄を祈念し、感謝とお礼のご挨拶といたします。

ご支援、本当にありがとうございました。

敬具

